

平成26年度「全国学力・学習状況調査」の結果概要について

宇都宮市立古里中学校

家庭や地域から「信頼される学校」であるためには、学校の状況や生徒の実態を保護者や地域の方々に十分御理解いただく必要があります。その上で、家庭や地域と一体となって生徒を育てることが大切であると考えています。

こうした考えから、平成26年度「全国学力・学習状況調査」における本校生徒の学力や学習状況の概要について、以下のとおり公表します。

また、調査結果は、学習指導の工夫・改善に役立てることが大切ですので、調査結果の分析、指導の改善策などを併せて掲載します。

【調査の概要】

1 目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況等の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

2 調査期日

平成26年4月22日(火)

3 調査対象

小学校 第6学年(国語A・B, 算数A・B, 児童質問紙)

中学校 第3学年(国語A・B, 数学A・B, 生徒質問紙)

4 本校の参加状況

① 国語A 129人 国語B 129人

② 数学A 128人 数学B 128人

5 留意事項

(1) 本調査は、対象となる学年が限られており、実施教科が国語、数学の2教科のみであることや、必ずしも学習指導要領全体を網羅するものでないことなどから、本調査の結果については、生徒が身に付けるべき学力の特定の一部であることに留意することが必要となる。

(2) 本校の傾向等を分かりやすく示すために分類・区分別の平均正答率などを公表した。

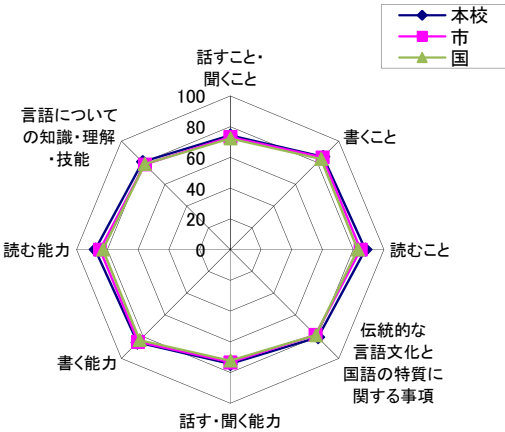
(3) 平均正答率の数値は調査結果のすべてを表すものではないため、「本年度の状況」、「今後の指導の重点」などの分析を併せて記載した。

宇都宮市立古里中学校第3学年【国語】分類・区分別正答率

★本年度の国、市と本校の状況

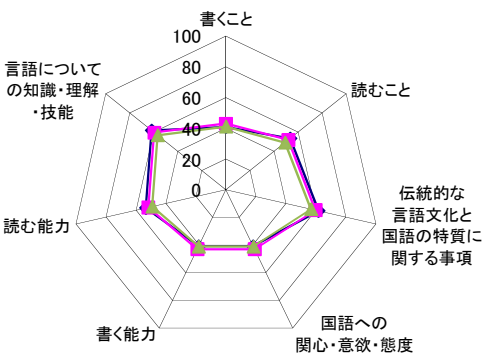
【国語A】

分類	区分	本年度		
		本校	市	国
領域等	話すこと・聞くこと	74.4	73.4	72.3
	書くこと	85.5	84.9	83.4
	読むこと	87.9	84.8	82.9
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	80.7	78.5	78.7
観点	国語への関心・意欲・態度			
	話す・聞く能力	74.4	73.4	72.3
	書く能力	85.5	84.9	83.4
	読む能力	87.9	84.8	82.9
	言語についての知識・理解・技能	80.7	78.5	78.7



【国語B】

分類	区分	本年度		
		本校	市	国
領域等	話すこと・聞くこと			
	書くこと	40.8	43.0	41.0
	読むこと	53.5	51.9	49.2
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	61.8	59.7	56.8
観点	国語への関心・意欲・態度	40.8	43.0	41.0
	話す・聞く能力			
	書く能力	40.8	43.0	41.0
	読む能力	53.5	51.9	49.2
	言語についての知識・理解・技能	61.8	59.7	56.8



★国語に関する質問紙調査の状況

○良好なもの ●課題が見られるもの

○90%以上の生徒が国語の勉強は大切と思い、国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと考えている。また、63.3%の生徒が国語の勉強が好きと答えている。
○読書が好きな生徒は85.2%で、栃木県平均より9.4%、全国平均より15.8%多い。
●国語の授業はよくわかるかという設問で、肯定的回答が66.4%で、栃木県平均74.9%、全国平均72.0%に比べて少ない。

★指導の工夫と改善

○良好なもの ●課題が見られるもの

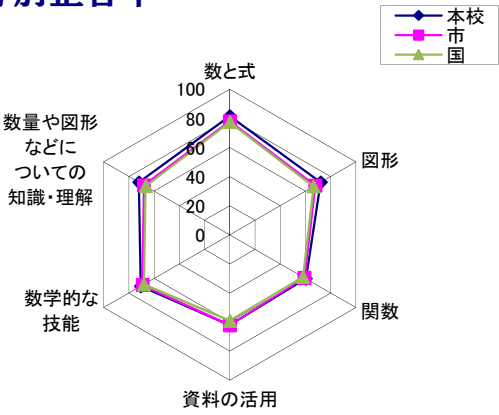
分類・区分	本年度の状況	今後の指導の重点
話すこと・聞くこと	○A 宇都宮市より1.0%、全国より2.1%高い。	場面に応じて、正しい言語表現をすることができるように、敬語の学習を進めてきた。今後は、その中でも、尊敬語、謙譲語に力点を置き、指導に努めたい。また、コミュニケーションにおいて、話を聞くということは不可欠である。「聞く時は聞く」、「話すときは話す」ことを、日頃の授業でも取り入れているが、さらに、すばやくメモを取るなどの学習も、加えていきたい。
書くこと	○A 宇都宮市より0.6%、全国より2.1%高い。 ●B 宇都宮市より2.2%、全国より0.2%低い。	基本的な事項を踏まえて、記述できるように、指導していきたい。文章の要点を簡潔にまとめる力、自分の考えを的確に表現する力、また、自分の感情や気持を相手に分かりやすく伝える力をつけたい。授業でのワークシートや作文を、何度も書くことを通し、その力を養っていきたい。また、よく書けている文章から学ぶ、という学習も取り入れていきたい。
読むこと	○A 宇都宮市より3.1%、全国より5.0%高い。 ○B 宇都宮市より1.6%、全国より4.3%高い。	小説や物語は、登場人物の心の動きを捉えること、また、評論文等は、筆者の意図や主張を読み取ることが大切である。そのため、本文へのマーキングを続けたい。また、物語や論説文の展開を、視覚的に把握するためのワークシートを作成し、活用していきたい。マーカーペンや付箋を使い、文章の要約に役立てたい。
伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	○A 宇都宮市より2.2%、全国より2.0%高い。 ○B 宇都宮市より2.1%、全国より5.0%高い。	新出、既出を問わず、練習プリントを使って、漢字の学習を継続していく。また、語句の意味調べも、国語ワークを利用し、継続する。古文に関しても、重要語句を押さえ、語彙が増えるような学習を進めたい。慣用句やことわざは、国語資料集やことわざ辞典を使って調べ学習をさせることにより、自発的に取り組ませていきたい。

宇都宮市立古里中学校第3学年【数学】分類・区分別正答率

★本年度の国、市と本校の状況

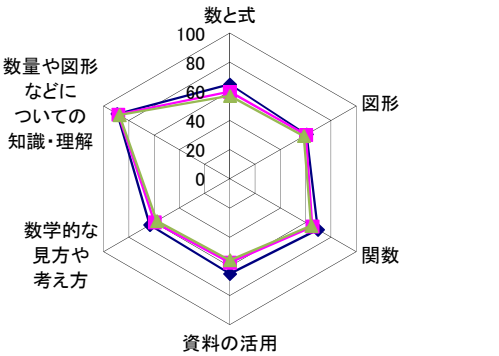
【数学A】

分類	区分	本年度		
		本校	市	国
領域等	数と式	81.6	78.0	77.4
	図形	72.1	67.8	66.4
	関数	60.3	59.3	58.0
	資料の活用	62.1	62.2	59.1
観点	数学への関心・意欲・態度			
	数学的な見方や考え方			
	数学的な技能	70.7	69.3	68.2
	数量や図形などについての知識・理解	72.1	68.2	66.8



【数学B】

分類	区分	本年度		
		本校	市	国
領域等	数と式	64.8	59.8	56.9
	図形	60.8	60.3	58.6
	関数	69.7	65.5	64.4
	資料の活用	65.2	57.5	55.9
観点	数学への関心・意欲・態度			
	数学的な見方や考え方	63.4	59.6	57.9
	数学的な技能			
	数量や図形などについての知識・理解	89.1	88.4	87.5



★数学に関する質問紙調査の状況

○85%以上の生徒が、数学の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役立つと考えている。数学の授業で学習したことを普段の生活の中で活用できないか考える生徒は51.6%で、栃木県より5.3%、全国より10.7%高い。
○95%以上の生徒が、数学ができるようになりたいと思い、77.4%の生徒が数学の授業がわかると答えており、栃木県より3.1%、全国より5.9%高い。
●22.6%の生徒が、数学の授業の内容がよくわからないと答えていることも見落とせない。

★指導の工夫と改善

○良好なもの ●課題が見られるもの

分類・区分	本年度の状況	今後の指導の重点
数と式	○A 宇都宮市より3.6%、全国より4.2%高い。 ○B 宇都宮市より5.0%、全国より7.9%高い。	基本的な計算の確実な定着を図るため、T・Tの授業を有効に利用した個別指導や、自作の練習プリント等を使って反復練習の充実を図る。また、誤りのある計算例を取り上げ、よく見られるつまづきの解消を目指した活動を取り入れる。
図形	○A 宇都宮市より4.3%、全国より5.7%高い。 ○B 宇都宮市より0.5%、全国より2.2%高い。	証明問題に積極的に取り組み、証明の方針を立てればそれに基づいて証明できる生徒が多いことから、方針を立てる活動の充実を図る。また、証明だけでなく角度を求める問題でも、仮定を図に示るしとして表し、図をいろいろな見方で考える練習を多く取り入れる。体積や表面積を求める問題については、求める公式を正しく理解させ、練習問題を多く取り組ませることで、定着を図る。
関数	○A 宇都宮市より1.0%、全国より2.3%高い。 ○B 宇都宮市より4.2%、全国より5.3%高い。	関数は、数と式や図形に比べ、生徒が苦手意識をもちやすい。反面、身近な教材を取り入れやすい分野でもあるので、関数の授業では積極的に身近な教材を取り入れていきたい。また、比例・反比例・1次関数の基礎基本の習得を図るための復習を行うとともに、関数を活用する問題練習を数多く取り組ませしていきたい。
資料の活用	●A 宇都宮市より0.1%低く、全国より3.0%高い。特に、樹形図を使って確率を求める問題の正答率が、60.2%で、全国より4.9%低い。 ○B 宇都宮市より7.7%、全国より9.3%高い。	樹形図を使って確率を求める問題については、復習問題を用意し、T・Tの授業を使ってきめ細かく個人指導をしながらしっかりと復習をさせたい。他の問題についてはよくできているが、この分野は数学の中でも一番身近な内容を扱うところなので、親しみを感じながら学習できるように問題を精選して復習させていきたい。

宇都宮市立古里中学校第3学年生徒質問紙調査

★傾向

○良好なもの ●課題が見られるもの

○対人関係では、95%を超える生徒が、人の気持ちがわかる人間になりたいと思っており、いじめはどんな理由があってもいけないことだ、人の役に立つ人間になりたいと思っている。

○自分自身については、83.6%の生徒が、自分にはよいところがあると考えており、88.3%の生徒が、先生は自分のよいところを認めてくれていると考えている。

○読書が好きと答えた生徒は85.2%で、栃木県平均の75.8%、全国平均の69.4%に比べて高く、学校や地域の図書館を利用している生徒の割合も、本校生徒は70.3%で、栃木県平均の45.4%、全国平均の41.6%と比べて20%以上高い。

○授業中の生徒の学びでは、友達の前で自分の考えや意見を発表することは得意であると答えた生徒は56.2%で、栃木県平均より7.1%、全国平均より7.6%高く、生徒の間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり広げたりすることができていると答えた生徒は82.1%で、栃木県平均68.7%、全国平均61.9%と比べ、20%以上高い。

●1日当たりどれくらいの時間テレビゲーム(コンピューターゲーム、携帯式のゲーム、携帯電話やスマートフォンを使ったゲーム)をするかという設問で、2時間以上行っている生徒が39.8%おり、栃木県平均の33.3%、全国平均の35.4%と比べて多く、特に、3時間以上4時間未満と答えた生徒の割合は15.6%で、全国平均8.7%の2倍近くになっている。情報モラル教育等で、テレビゲームの使い方について指導していきたい。